

# 京都府丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画 (京都府丹後地域公共交通総合連携計画)

【宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町】

## 現状・課題

- 鉄道、バス利用者が年々減少 ⇒ 赤字補填を基礎とする行政支援額の増加
- 事業者や市町の努力にかかわらず、利用者減に歯止めがかからない
- 交通ネットワーク全体の情報提供が不十分で、利用者に分かりにくい

## 利用者本位の視点で、公共交通のあり方を見直し

### 基本的認識

- 公共交通網は、**住民自身の手で守り育てる**べきもの → その**改善は自分たち自身が行う**べき

### 基本的方針

- 失敗を恐れずに、まず、**モデル的・実験的に、できるところから改善**
- 事業者任せにせず、**地元住民や行政も一緒**になって**自ら考え、皆で良く**する

### 目標(趣旨)

- 「ダイヤ」「運賃」「駅・停留所」「車両」「情報提供」等**交通システムの基礎的部分に立ち返って改善**
- 「**分かりやすく**」「**使いやすい**」面的な**公共交通ネットワークの実現**

## 具体的な事業例

「タンゴ悠遊号」  
の土休日運行  
(季節臨時→通年)



企画乗車券等の発売



植栽、美化活動等

情報提供の工夫



上限200円バスの導入・拡大



バス停位置の改善

〔ロータリー乗入  
施設直近  
敷地内移設等〕

パターンダイヤの導入

駅内の案内表示改善、車内の音声案内充実

利用者マナー向上運動

ノンステップバスの導入

駅周辺の駐車場整備

鉄道・バス共通割引切符

バス停の上屋、待合施設の整備

より効果的・効率的な  
公共交通ネットワークの構築